令和5年度に頂いた寄附金124,619,569円は、次の事業に活用しました。

活用金額: 26,380,569円

活用金額:30,283,000円

活用金額: 21,644,000円

人を惹きつける住みたい愛媛づくり

えひめの移住力総合強化事業

● 移住者の受入体制の強化

「えひめ移住コンシェルジュ」が対応する相談窓口を大阪市内に常設したほか、20市町・就職支援団体等と連携した大規模移住フェアの開催 等により、移住者受入体制の強化を図るとともに、「えひめ移住ネット」内にUターン者向けページの設置やTikTokを活用した動画配信を通 して、えひめ暮らしの魅力を積極的に発信するなど、更なる移住の促進に取り組みました。

えひめの若者ライフプラン形成支援事業

● 県内企業・団体の若手従業員を対象にライフプランセミナーの開催

県内企業・団体の若手従業員を対象に、結婚や子育て等を含めたライフプランについて考える機会を提供することで、仕事と家庭の両立やキャリアアップに対する不安解消を図り、参加者が「愛媛で暮らし、働き、結婚し、子育てをすること」を具体的にイメージするためのセミナーを年間で31回開催し、403名に参加いただきました。

愛の子育て応援事業

● 官民協働による愛媛オリジナルの子育て支援

市町(四国中央市を除く)と、県内に拠点のある紙おむつメーカー3社との官民協働により、第2子以降を出生した約3,800世帯に紙おむつの購入に利用できる「愛顔っ子応援券」(50,000円分)を交付しました。子育て世帯の経済負担を軽減するとともに、県内企業の製品を在住市町の店舗で購入する仕組みにより、地域の産業振興と経済活性化につなげました。



えひめ暮らしパンフレット





愛顔っ子応援券

地域の稼ぐ力と県民所得の向上

冷感紙関連技術創出事業

●製紙技術を活用した冷感機能を持つ新規な紙素材"冷感紙"及びその繊維化技術の開発

接触冷感機能を有する繊維と吸湿性を持つパルプ繊維を原料とし、現行製品に比べ、冷感性1.5倍、吸水性4倍の冷感紙が開発できました。また、一般的な紙糸に冷感性を有する糸を組み合わせることにより、現行製品に比べ、冷感性1.3倍の冷感織物が開発できました。

若手IT起業家創出支援事業

● デジタル技術を活用して愛媛で起業を目指す優秀な人材の育成

県内外から、16名の若者が参加し、しまなみ海道の橋でつながる3つ島のひとつ、「神の島」大三島のワーケーション施設等において、70日間にわたってプログラミング学習と起業に必要な知識を習得する合宿講座を実施するとともに、県内での起業にむけて2か月にわたるアフターフォローを実施しました。

愛媛あかね和牛産地化支援事業

● 愛媛あかね和牛の生産体制の強化

本県が開発した「愛媛あかね和牛」の安定的な生産を図るため、遺伝形質を評価する技術を活用した子牛の品質改善等への取組みを推進し、よりあかね和牛の生産に適した子牛生産体制への転換を促した結果、あかね和牛の更なる産地化が進み、生産頭数が82頭(R元)から179頭 (R5) へと増加しました。

「すご味 |・「すごモノ |販売支援事業

● 「すご味」・「すごモノ」事業者等の販路開拓・販路拡大の支援

大都市圏での大規模展示会へ出展するとともに当展示会と連動させたオンライン商談会を開催したほか、ジャンル別に県外バイヤーを招聘した「すご味ジャンル別商談会」の開催、大手食品卸主催の展示会への出展、全国各地の百貨店等での愛媛県フェア開催などにより、県内事業者の販路開拓・販路拡大を支援しました。







愛媛あかね和牛



交流人口拡大による国内外からの活力の取り込み

クルーズ船受入環境整備事業

●クルーズ船の寄港を推進するための必要な物品の購入及び施設の整備

松山港及び宇和島港におけるクルーズ船旅客受入環境向上のため、屋根付き通路や待合施設、歩行者用路面標示を整備したことにより、利便 性及び安全性が向上し、クルーズ船の寄港数増加に寄与することができました。

しまなみ海道・国際サイクリング大会実施事業

●サイクリングしまなみ2024の開催

しまなみ海道の魅力を広く国内外に発信するとともに地域の活性化を図るため、令和6年10月27日(日)に「サイクリングしまなみ2024」 (定員3,500人)を開催することとしており、サイクリングしまなみ2024実行委員会を設立し、実施計画の策定や公式HPの作成等を行いました。

自転車新文化推進事業

● 「愛媛サイクリングの日」におけるイベント実施

県民が自転車に親しみ、サイクリングを楽しむことにより、サイクリストの裾野拡大や地域間の交流人口の拡大を図ることを目的に、県と市町が協働して創設した「愛媛サイクリングの日」において、各市町で開催されるサイクリング関連のイベントとの連携、広報、誘客促進などを実施しました。



歩行者用路面標示



サイクリングしまなみ2024

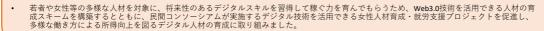


愛媛サイクリングの日

地域の都市機能の維持・最適化

未来デジタルキャリア獲得促進事業

● Web3.0技術を活用できる人材の育成スキーム構築、女性デジタル人材の育成・就労支援





活用金額:10,822,000円

活用金額:16,148,000円

女性デジタル人材の育成

リスクから県民の命を守る安全・安心な生活基盤の充実 活用金額:19,342,000円

防災士活躍促進事業

● 地域における防災活動の中心的役割を担う防災士を養成

・ 地域における防災活動の中心的な役割を担う「防災士」を養成するため、2日間の愛媛県防災土養成講座を計24回(自主防災組織11回、県職員6回、県立学校教職員1回、企業・団体職員等6回)開催しました。同講座の受講者数は2,204名であり、このうち2,151名が新たに防災士の資格を取得しました。

ドクターへリ運航事業

●ドクターへリの安全かつ効果的な運航体制の構築

山間部や島嶼部における救急患者の搬送、災害時における広域救急搬送等に有用なドクターへりを、県立中央病院及び愛媛大学医学部附属病院の協力等を得ながら運航し、救急医療体制の充実を図っています。令和5年度は、284件の出動があり、運航開始以降、消防機関等との訓練や症例検討会等を重ねて効果的・効率的な運航に努めています。

災害医療対策事業

● 災害派遣医療チーム(DMAT)の活動支援等

県内外において、発生する自然災害等への迅速な対応を実現するために、災害派遣医療チーム(DMAT)の活動支援や、災害拠点病院をはじめとした県内の医療機関における医療救護体制の強化に向けた取り組みを実施しています。令和5年度は、令和6年能登半島地震で被災した石川県に愛媛DMATを派遣しました。

自転車安全利用促進強化事業

● 自転車の安全利用を促進するCMを作成し広く県民に呼び掛ける

• 自転車の安全利用やヘルメット着用をテーマに、学生から高齢者までの幅広い年齢層から企画案を募集しました。今回は新たに「大人もヘルメットをかぶろう」部門を新設し、応募作品164作品の中から選出した優秀作品等をCM化し、テレビ・ラジオで放送したほか、マナーイベントを開催し、県民の自転車安全利用意識の高揚を図りました。



愛媛県防災士養成講座



ドクターヘリ



DMATの活動支援



自転車交通安全CMコンテスト

環境を守り自然と共生する社会の実現

カーボンニュートラルポート形成計画策定事業

●カーボンニュートラルポート形成に向けた港湾炭素化推進計画の策定

重要港湾4港(三島川之江港、東予港、松山港、宇和島港)のうち、松山港において、「松山港港湾脱炭素化推進計画」の策定に向け、官民一体となる松山港港湾脱炭素化推進協議会を発足し、令和6年2月に第1回となる松山港港湾脱炭素化推進協議会を開催しました。

気候変動適応推進事業

● 気候変動影響や適応策の調査・研究

 高齢者世帯において、暑さ指数の詳細調査を実施するとともに、気候変動により増大する熱中症リスクに係る危険性や予防行動について学ぶ 小学生向けワークショップを開催したほか、民間企業と協力して、熱中症対策を紹介する動画を作成しました。また、気候変動の影響で増加 が予想される自然災害について、動くハザードマップによる発災時のシミュレーションを行い、事前の備えの普及を図りました。

中小企業温暖化対策支援事業

● 中小企業の温暖化対策の取組みの支援

• 具体的な脱炭素の取組みをテーマとした講演や事例紹介のほか、活用可能な支援の紹介等を行う中小企業向けのセミナーを開催したほか、省エネ診断を受診し、設備改善等の具体的な対策の検討を希望する事業者を対象に個別相談を実施しました。

海洋ごみ対策事業

● 海洋ごみ対策の継続的実施に向けた人材育成及び施設整備の促進

 海洋ごみ対策の中核を担う人材育成を目的としたセミナーを開催したほか、海洋ごみ対策に熱意と識見を有する方を海岸漂着物対策活動推進 員等に委嘱・指定し、自主的な活動を促進するとともに、回収した海洋ごみの有効活用を促進するため、市町に対し、再資源化施設整備費用 を補助するなど、海洋ごみ対策の継続的実施に向けた体制整備に努めました。



松山港港湾脱炭素化推進協議会



小学生向けワークショッフ



省エネ個別相談



愛媛県海洋ごみ対策セミナー

皆様のご寄附に心より感謝申し上げます。

